

令和2年度 第2回府中市スポーツ推進計画検討協議会

日時：令和2年8月24日（月） 午後3時から

開催：府中駅北第2庁舎 3階会議室

出席者：

<委員>

朝日マヤ、植竹照雄、植田悠太、小島壽一郎、佐藤美枝子、佐藤光宏、高峰 修、
本田純子、吉松久美子（五十音順、敬称略）

<事務局>

スポーツ振興課長（市ノ川）、スポーツ推進係長（西井）、スポーツ振興課職員（及川、
高森）、株式会社創建（本多）、建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当主幹（後
藤）

欠席者：

<委員>

田口祐貴（五十音順、敬称略）

<事務局>

文化スポーツ部長（関根）

—開式—

○会長

こんにちは。まず、本日の委員の出席状況を事務局から報告お願いいたします。

○事務局

こんにちは。本日はお忙しいところ、本協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

本日の出席状況でございますが、委員定数10名のうち、現時点で9名ご出席いただい
ております。府中市スポーツ推進計画検討協議会規則第4条の2項に基づく過半数の定足
数を満たしておりますので、この本日の会議が有効に成立することをご報告申し上げます。

なお、田口委員は欠席のご連絡をいただいております。また、本日出席予定でした部長
の関根ですが、急遽ほかの公務のため欠席となりましたので、ご承知おきください。

○会長

それでは、第1回目協議会をご欠席された委員の皆様から、ご挨拶をお願いいたします。

—委員自己紹介—

(※ 第1回欠席委員から挨拶)

○会長

ありがとうございました。よろしく願いいたします。

それでは、本日の傍聴希望者につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

本日の傍聴人につきましては、8月11日号付の「広報ふちゅう」で募集をいたしましたが、本日の傍聴希望はございませんでした。

なお、建築施設課の文化・スポーツ施設老朽化対策担当主幹の後藤が同席いたしますので、ご承知おきください。

—資料訂正・確認—

○会長

次に、本日の配付資料につきまして、事務局からお願いいたします。

○事務局

まず、前回第1回協議会資料の内容に誤りがございましたので、訂正をいたします。資料5-1「現行計画のふりかえり」の表についてですけれども、平成30年度の欄に数値を記載しておりましたが、こちらの指標につきましては、隔年で調査を実施しておりましたので、正しくは平成31年度の欄に数値を記載するように訂正をさせていただきます。また、今後訂正した資料を公開いたしますので、ご承知おきください。訂正は以上です。

それでは、続きまして、事前に郵送いたしました資料について、確認をいたします。

(※ 事務局にて配布資料確認)

—第1回協議会の振り返り—

○会長

資料訂正と確認でしたが、何かご質問などございますか。

ご質問などないようですので、早速ですけれども、議題に移りたいと思います。報告事項の「第1回協議会の振り返り」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、「第1回協議会の振り返り」についてご説明いたします。お手元の【参考資料】(非公開)となっております「第1回協議会議事要旨」及び第1回協議会の報告とともに事前送付いたしました「第1回協議会議事録」をご覧ください。

この「第1回協議会議事要旨」は、協議会での決定事項等を整理することを目的に作成いたしました。前回の協議会では、大きく2項目について協議検討をいたしました。次期スポーツ推進計画(案)策定に向けた進め方・スケジュール(案)についてなど4点、並びに現行計画の評価・アンケート項目について5点を決定いたしました。記載事項について、ご自身の発言箇所も含め、訂正が必要な箇所等がないかご確認ください。なお、「第1回協議会議事要旨」は、委員の皆様の個人名が記載されている資料であることから、非公開資料として取り扱いますがよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

○事務局

特にご異論がないというところで、非公開資料として取り扱わせていただきます。また、第1回協議会の報告と併せて送付いたしました「第1回協議会議事録」は、録音した会議内容を文字に起こした資料でございます。本日内容確認のうえ、府中市ホームページ等で公開を予定しておりますので、誤り等ございましたら事務局までお申しつけください。

－アンケート項目および実施対象の検討・決定－

○会長

事務局から説明がありましたけれども、何かご意見などございませんか。

「議事要旨」のほうは非公開ということで、「議事録」のほうはホームページで公開されるということです。修正点等がありましたら、お知らせください。

それでは、次に、協議事項の「アンケート項目及び実施対象の検討・決定」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、事務局からは資料1、資料2-1、資料2-2について一括でご説明をさせていただきます、その後、協議と質疑応答を行っていただきます。

初めに、お手元の資料1「アンケートの分析にあたって（案）」をご覧ください。「アンケートの分析にあたって（案）」は、府中市スポーツ推進計画策定の基礎となるスポーツ推進に関する需要や本市の実態把握のために実施するアンケートについて、概要等をまとめております。

1の「アンケートの概要」では、調査対象・配布数・想定回収率・配布・回収方法などをお示ししました。対象は無作為抽出した一般市民向けと併せて、第1回協議会でもお認めいただいた子ども向け調査を想定しております。子ども向け調査の配布数は1,200人程度としておりますが、内訳といたしましては、小学5年生の市立小学校22校に各1クラスずつと、中学2年生の市立中学校11校に各2クラスずつに依頼をしたいと考えておりまして、おおむね1クラス30人程度を想定のうえ、計1,320人程度の配布となることを見込んでおります。

配布・回収方法につきましては、市内33校ある市立小中学校の対象クラスに配布をお願いいたしまして、回収まで学校側で行っていただくのか、または市民向け調査と同様に返信用封筒を同封して後日ポストへ投函していただくのか、協議会でのご意見を基に事務局より市立小中学校長会へ依頼調整をする予定です。

なお、前回ご意見をいただいておりますQRコードなどを利用したインターネット調査につきましては、前向きに検討いたしましたが、調査に関する予算上の制約もあり、今回調査での導入は難しいとの結論となりましたので、ご報告をいたします。

次に、2の「スケジュールの要点」では、アンケート実施の目安をお示ししました。一般の方向けについては、本日の第2回協議会でこの後アンケート項目をご確認いただき、9月中をめどに調査票を発送する予定でございます。その後10月下旬までに調査票の回収と支援業者によるデータ入力のうえ、11月上旬に速報値の報告と分析を受けて、委員の皆様へ郵送での報告を予定しております。

なお、3の「分析にあたって」では、具体的な調査項目のねらい、クロス集計の分析、府中市での計画を取り巻く他の計画との比較について記載しており、創建から説明をいたします。

○株式会社創建

資料1を1ページおめくりいただくと、こちらが市民向け調査と子ども向け調査の項目とねらいを簡単にまとめさせていただいたものになります。各設問に関しては、水色のボックスの中でねらいを記載しております。

また、この表では、市民向け調査に関して、設問番号としては19までで、枝番を含めると最大で31問になる調査表の構成を示しています。また、表の一番右側、「子ども調査」という列に丸をつけており、資料2-2「子ども向け調査」の設問がどれか表示しています。

3ページ目をご覧くださいまして、表の一番右側の市民調査で丸がついているところは市民調査でも聞いている子ども向け調査の項目です。表の大きさを見てお分かりになるかと思うのですが、子ども向け調査は市民向け調査と比べて3分の2くらいのボリュームです。年齢を加味すると、児童生徒に対して一般市民向けの調査と同等のボリュームを調査するのは難しいということで、なるべく回答の負担を減らすという観点から、項目が少なくなっているところをご理解いただけたらと思います。

最後に、4ページ目をおめくりいただきまして、調査表、調査項目に関して分析をどうしていくかということも簡単にご説明をいたします。

大きなところでいくと、今回クロス集計をさせていただきます。これは、例えばスポーツ実施をどれくらいしているか市民の方全体に対しての数値を出していくのですが、詳細に分析をするにあたっては、表の上から2行目の設問と選択肢の表をご覧ください。表の左側を縦に見ていくと、男性・女性、年齢に対して各設問とクロスした数字を見ていくという分析を多岐に渡ってやっていきたいと考えています。

「クロス集計項目のイメージ」が、下段にあるのですが、例えば性別、年齢、職業、居住地区、あとは健康の状態、またはスポーツの実施状況や考え方といったものを軸に据えて、各設問を深掘りしていくよう考えております。

また、こういった調査の結果というのが、今回の調査は深掘りするだけではなくて、国や東京都と同様の設問というのも今回検討しています。東京都と比較して府中市の状況がどうか、国の調査と比較して府中市の状況はどうか、その結果を見ていながら、詳細なニーズ分析をしていきたいと考えております。

○事務局

続きまして、資料2-1「スポーツに関するアンケート調査」をご覧ください。資料2-1は、資料1の2ページの「市民向け調査・調査項目（案）一覧」でご説明した項目について、実際の調査票イメージをつかんでいただくために作成いたしました。

まず、1ページ目は、回答者へのお願い文とご記入にあたってのお願い、回答期限、問合せ先、本調査におけるスポーツの是非について記載しております。

お願い文では調査対象人数や条例に基づいた個人情報の取り扱いについても説明しております。「ご記入にあたってのお願い」では、回答形式の概要説明や回答が難しい方には代理回答が可能な旨をご案内します。また返信方法、回答期限等を記載しております。第1回の協議会でもご意見とご承認をいただいたところですが、このページの最後に本調査におけるスポーツの定義として、ウォーキングやジョギングなども含め、自発的に行う身体活動をスポーツと定義し、eスポーツも対象内としております。

続きまして、2ページ目は回答者の属性を調査いたします。回答者属性は資料1の4ページでもご説明したとおり、回答結果のクロス集計に活用いたします。問1から問6では、性別・年代・職業・お住まいの地域・回答者の考えるご自身の健康状態・新型コロナウイルス

スの感染拡大を受けた意識や行動変化を択一の形式で聴取いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大を受けた意識や行動変化があったと回答した場合は、問6-1で具体的な変化と対応内容について自由記述をしていただきます。

次に、3ページの間7から5ページの間9まで、「する」スポーツへの関わりについて主に択一形式で調査いたします。問7ではどのようなスポーツや運動に関わったかについて、令和2年4月を基準日にその前後を聞きます。これは、事務局にて基準期間を新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前と後と定めて聞くことを目的としておりまして、コロナの影響を受ける前を経年と比較する目的で聞き、影響を受けた後をコロナ禍で回答者がどのようにスポーツや運動に取り組んだかを聞きます。問7-1-1から問7-3-1までは、回答者がスポーツや運動を行ったと回答した場合に、実施頻度・理由・場所などを聞きます。問8ではスポーツや運動をすることの妨げになっている事柄を、問9では今後回答者が行ってみたいと考えるスポーツや運動を聞きます。

次に、5ページの間10から6ページの間12-2では、「みる」スポーツへの関わりについて主に択一形式で調査をいたします。問10では回答者がコロナ禍以前にスポーツ観戦をしていたか聞きます。問10で聞くスポーツには、アマチュアスポーツも広く含むものとします。問11から問12-1までは、府中市を拠点に活動するトップチームについて認知度や観戦の有無・頻度を聞き、問12-2でスポーツ観戦をさらに親しんでいたご事項を聞きます。

次に、6ページの間13から問14では、「ささえる」スポーツへの関わりについて主に択一形式で調査をいたします。問13ではコロナ禍より前に「ささえる」スポーツに関わっていたか、関わっていた場合には問13-1で活動内容を聞きます。また、問14ではスポーツに関するボランティア活動に関わったきっかけや動機づけを聞きます。

次に、問15では「スポーツに対する意識と行動の状況」について択一形式で調査をいたします。この設問は東京都がスポーツ推進総合計画でも同様の調査をしており、回答結果を比較するために内容を同一としております。

次に、7ページの間16から17では、スポーツに関する情報について、入手方法・活用方法・ニーズを主に択一形式で調査いたします。

次に、8ページの間18から問18-1で障害者スポーツへの関わりについて、「する」

「みる」「ささえる」の視点から、主に択一形式で調査をいたします。問18-1で設問項目としている障害者競技につきましては、市の主な支援内容をご紹介いたしております。まず、ボッチャについてですが、平成29年から啓発事業を開始しておりまして、令和元年度には、市内福祉作業所や市立小学校に通う児童生徒等の延べ2,392人を対象に計6回の大会運営や啓発イベントを実施いたしました。

次に、車いすバスケットボールについてですが、こちらは東京2020パラリンピックに向けたオーストラリア代表チーム事前キャンプを総合体育館で誘致しており、これまで平成30年に1回、令和元年に1回の計2回事前キャンプを実施しております。また、ゴールボールや障害者卓球は市にゆかりのあるパラリンピアン等との交流実績がございます。

次に、問19では市に今後力を入れてほしい施策を主に択一形式で調査をいたします。

最後に、府中市のスポーツ施策について、ご意見やご要望を自由記述で聞きます。資料2-1の説明は以上でございます。

続きまして、資料2-2「スポーツに関するアンケート調査」を御覧ください。こちらの資料2-2は、資料1の3ページの「子ども向け調査 調査項目(案)一覧」でご説明した項目について、実際に調査で使用する形式のイメージをつかんでいただくために作成いたしました。

資料2-2では、子ども向けということで、回答の負担を軽減させる目的から項目数を資料2-1の半分程度としており、基準日を設けたコロナ禍の前後について聞く調査は作成しておりません。なお、資料2-2のうち、資料2-1と調査のねらいが重複する箇所については、説明を割愛させていただきます。本資料は小学生向けには読み仮名をふっておりますが、中学生に配布するアンケートには、読み仮名はふらない予定でございます。今、お配りしておりますのが、小学校5年生向けのものになります。

資料2-2では、資料2-1と異なり、各市立小学校または中学校の担任の先生に回答を提出して一括返送していただく前提で作成をしております、不明点は担任の先生に確認をしていただくようご案内する予定でございます。

続きまして、調査項目についてご説明をいたします。まず1ページ目の問1から2ページ目の問4-1までは回答者の属性を調査をいたします。問3から問4-1では、第1回協議会でご意見をいただいております、「体育」と「運動やスポーツ」を区別して好みを

聞きます。

次に、2ページの間5から3ページの間6では、「する」スポーツへの関わりについて主に択一形式で調査をいたします。間6では回答者が自主的に運動やスポーツに取り組んでいるかを聞きます。

次に、3ページの間7から間8では、「みる」スポーツへの関わりについて択一形式で調査をいたします。ここでは市内のトップチームについて、認知度と観戦したチームを聞きます。

次に、3ページ目の間9から間9-1では、「ささえる」スポーツへの関わりについて主に択一形式で調査をいたします。間9-1では、コーチ・審判の手伝いといった小学生向け独自の調査項目を記載しております。

次に、4ページの間10は東京都の調査と比較することを目的に、スポーツに対する意識と行動の状況を択一形式で調査をいたします。

次に、4ページの間11から間11-1では、障害者スポーツへの関わりについて、主に択一形式で調査をいたします。

最後に、4ページの間12から間14では、回答者の家族等との運動・スポーツの実施状況について択一形式で調査をいたします。資料2-2の説明は以上です。

○会長

それでは、資料1、資料2-1、資料2-2にわたってご説明がありましたが、この「アンケート項目及び実施対象の検討・決定」につきまして、次の2点について、ご協議ください。

まず、「検討内容」につきましては、1つは、子ども向け調査の配布・回収方法。これにつきまして、事務局からどのように学校のほうにお願いをしているかということになります。これにつきまして、いかがでしょうか。

○委員

通常の役所からの配付物については、交換便を使って行われていますので、こちらを活用していただく形でよろしいのではないかと思います。いかがでしょうか。

○事務局

ご提案ありがとうございます。できるだけお手間をかけないようには思うのですが、交換便で配付させていただいて、回収まで依頼という形で考えてよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○事務局

ありがとうございます。そのような形でご調整いたします。

○委員

先ほど小学校は1クラス、中学校は2クラスだというお話があったのですが、クラスの指定については、各学校のほうにお任せさせていただいてよろしいですか。

○事務局

各学校のご都合で1クラスまたは2クラスといったところをご指定させていただいて構いません。

○会長

その旨を依頼に記載していただくと、各学校で把握しやすいと思います。

○事務局

依頼にはいただいた点を記載して送付いたします。

○会長

まず、子ども向けの調査の配布・回収方法についてご提案いただきました。どうもあり

がとうございます。

○委員

各学校の児童にアンケートを配布する際、回答は家庭に帰って回答するのですか。それとも学校の中で回答するのですか。

○委員

家庭に持ち帰らずその場で実施します。

○委員

そうなのですね。なぜこういうことをお聞きするかというと、指定された学級の中に、例えば障害児がいらっしゃると、なかなか読んだだけでは理解できない子どもたちもいると思うので、どのように回答をするのかというのでお聞きしました。

○委員

担任もその辺は把握しているので、詳しく説明いたします。また、府中市が各クラスにそういう子を対象に補助する支援員も配置していますので、きめ細かくできるかと思いません。

○委員

ありがとうございます。

○会長

子どもの調査については、学校でやっていただけると、回収数も非常に高くなりますし、同じ環境でやってもらえるというのは非常にありがたいことですので、この状況下でかなりお手間をかけますが、よろしく願いいたします。

それでは、子どもの調査のアンケートの内容です。資料2-1は市民向けです。そして資料2-2は小学5年生向けということなのですが、こちらの内容につきまして、少し時

間をかけて委員の方々からご意見をいただきたいと思ひます。

○委員

参考の非公開とある資料の、3 ページ目の最後です。決定事項としてある項目の中で、スポーツ・インテグリティの視点をアンケート項目に含めると、(5) のコロナ禍で、新しい生活様式の考え方をアンケートに取り入れるとなっているのですけれども、どの辺りが取り入れられているのか、ご説明ください。

○事務局

では、説明は創建からいたします。

○株式会社創建

まず、先にご質問をいただいたスポーツ・インテグリティに関してなのですが、団体のガバナンスですとか、または体罰とか、そういった高潔性の概念になります。府中市の活動をお伺いしている中では、特段深刻なトラブル等はこれまではなかったと認識しておりますが、問19で府中市のスポーツ施策に求めることの中で選択肢を設けて、ここに丸がついてくるかを把握し、仮に選択肢19に数多く丸がついてしまったら、スポーツ・インテグリティという概念を持って、計画の中で1つの柱に位置づける必要が出てこようかとは考えております。インテグリティという単語そのものは書いていないのですが、現時点ではこの選択肢の中に入れて対応させていただきたいと考えております。

もう1点、新型コロナウイルスの対策に関してなのですが、大きなところでいくと問7を設けております。スポーツ実施率を把握するときに、この1年間での実績を聞くのが各自治体、東京都、国において一般的ですが、今回調査のタイミングとして、この1年、特に向こう半年を遡ってみるとコロナ禍がちょうど始まって、調査期間のうち半分がコロナ禍の影響を受けてきているので、その辺に対して区別して聞く必要があるのではないかという議論が事務局でありました。結果として問7のところで、3月31日までと4月1日までと便宜的に期間を区切りまして、コロナの前後で状況を把握していく立てつけを調査票の中では考えていくことで、調査項目を細分化することで対応したいと考えております。

○委員

ありがとうございます。

○会長

今、事務局・創建から回答がありましたけれども、前回の第1回目の協議会のときに決まりましたスポーツ・インテグリティに関する報告と、もう1つはコロナの影響ということアンケート用紙に含めていくことで、どの程度ボリュームを使って質問するか、この兼ね合いになるかと思えます。インテグリティのほうは、問19の設問の18番、19番がこれに該当していて、市民がこの問題に対して市に何を期待しているか確認しようということなんです。

コロナの影響については、主に問7です。期間を、年度の区切りになりますけれども、3月31日までと、4月1日に分けて質問してみようということなんです。また、問6も一応新型コロナウイルスの影響ということに関して、意識、行動に変化があるかということ質問しているところなんです。

今のところ、大人の調査用紙についてのご意見というものが出ていますけれども、大人の調査に関してほかに何かございますか。

○委員

このアンケートの項目において、追加というのは可能なものでしょうか。

○会長

今、ここで可能ですとなかなか言い切れないかもしれませんが、ぜひ積極的に検討はしていくべきかと思えます。

○委員

個人の属性の話なんですけど、「スポーツタウン府中」というキャッチフレーズがありますよね。このキャッチフレーズをどれほど皆さん認知しているのかなど。これをぜひどこ

かに入れていただければと思います。中身まで知っているのか、それとも言葉だけ知っているのか、それとも全然知らないのか。ぜひ認知度を問10の属性の辺りだとか、どこかに入れてほしいと私の個人的な意見ですが、皆さんにお伺いします。

○事務局

とてもいいご提案だと思います。前回の決定事項の中でも基本理念及び基本視点に大きな変更はしないということで、前計画から「スポーツタウン府中」という理念でやっておりますので、その辺りがどれくらい認知されているかというのは非常に重要な設問かと思えます。どこに入れるかはお任せいただく形になるかと思いますが、できる限り前向きに追加できるように検討したいと思います。

○委員

無作為2,000名という数が出ているのですけれども、これ年代別に何名くらいとはやらずに、全くランダムに人数を選んでしまうのかどうかということをお聞きします。

○事務局

無作為というのは、本当に完全に26万市民をランダムということではなく、ある程度それぞれの層を作って選ぶ形になります。性別だけではなく、地域もそうですけれども、ある程度の絞り込みはする中で、誰という特定はしないので、無作為というのがあまり本当のランダムではないというところだけご理解ください。

○委員

問7の「する」スポーツについてなのですけれども、先ほどコロナの前と後でアンケート調査しますというお話だったのですが、コロナの後は、みんなが集まってするスポーツはなかなかできなかったと思います。今、動画配信とかを見ながら、家で運動をする方が結構いらっしゃると思います。これからは集まるスポーツ・運動ではなくて、集まらなくてもできる運動も考えていかなければいけないのかなと思うので、もしスペースがあれば、それも設問に入れていただくと、今後役に立つのかなと思います。

それと、問7の軽い運動の中に、まだスペースがあるので、縄跳びとか入れていただく
といいのかなと思います。

それと、サイクリングのところですが、今通勤で使われている方もいらっしゃるので、
一応運動・スポーツに捉えられるかなと思います。

それと、ウォーキングのところなのですが、スポーツそのものはアンケートの調
査の中にウォーキング、1 駅歩きというのが入っています。密が嫌な方はきっと歩いてい
る方もいらっしゃるのかなと思い、項目に入れていただくのも1つの手かなと思います。

○事務局

1つ目ですけれども、室内での活動を含めてというところは、問6-1の中で、「コロナ
ウイルスの拡大によってどのような変化がありましたか。それに対してあなたどうし
ようと思っていますか」というところで、よければお答えいただくような回答ではいか
がでしょうか。

○委員

この設問で回答していただけるのかなとは思いますが。例えば例を何か書くかという形を
もし入れられるのであれば、いろいろな意見がいただけるかもしれません。

○事務局

そうですね。どうされるかというのは、どちらかというと、択一的に選ぶような内容で
はないので、お話しいただいたような例を問6-1に入れていくほうが、例えばこういう
工夫をして家で動画を見ながら体を動かすようになったというのが、記入していただ
けるかなと思います。

それと、自転車通勤ですとか、あとウォーキングのところも含めてです。自転車通勤と
いうのは、1 番のウォーキングとか散歩のところと一緒に入れて、競技的に自転車をや
っている方はサイクリング、モーターサイクルスポーツに入れることで差別化できるか
と思います。日常生活の中での動き、動作については1 番という区分でいくのであれば、
この中に入れさせていただくことは可能かなと思います。

それと同様に、縄跳びはウォーキングとか、その下の軽い運動に入れるのが妥当かと考えており、検討できればと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

よろしく申し上げます。ありがとうございます。

○会長

今のことは、コロナの影響というのをどうやって確認するかということなのですが、問7では、「行っている」「行っていない」ということでも分かりますが、それが問6で、いろいろな変化というのを探る項目となっています。1ページ目に『本調査における「スポーツ」とは』というのが一番下にあります。この中で意図しているのは、あまり競技的なものではなくて、本当にレクリエーションまたは軽い身体運動もここではスポーツとして捉えていることが前提ですので、そういった調査、意図が反映できるように少し項目を整理する必要があるかと思えます。

こういった形で、細かい話でも構わないので、お気づきの点がありましたらご意見をお出してください。

今日まだ時間は大丈夫ですね。しばらく時間を取りまして具体的に市民向け調査項目に皆さんそれぞれ答えていただくのがいいかなと思いますけど。5分程度で多分回答できるのではないかと思います。具体的に丸をしてみて、質問の意図が分からないとか、そういうのがありましたらご意見を出してください。少し時間を取りますので、じっくり見ていただければと思います。

(※ アンケート調査体験)

○会長

それでは、市民向け調査票を中心に回答していただいたと思うのですが、何かお気づきの点がございましたら、ご意見を出していただければと思います。

○委員

それでは、3点伺います。まず「行う」スポーツについての分類の中で、武道、格技等というのがあります。その1つ下の枠の中に、屋内スポーツということで、なぎなた、それから四半的弓道というのですか、なぎなたとかは武道には入らないで、屋内スポーツという分類の中に入っていくのでしょうか。

2点目が、その3つぐらい下、ウォータースポーツというところで海水浴というのはウォータースポーツに含まれるのか疑問です。

それから3点目、最後です。問7の1-1です。行ったスポーツの日数についてですけども、1から4の数の設定というのですか。3日だと年に多分150以上。2が50以上。3が12から36くらいの割合になると思います。最後、4が年に1回から3回ということなのですけれども、そうすると、4から11日はどうなのだろうというところなので、例えば数日とか、そのような表現のほうが分かりやすいのかなと感じました。

○会長

ありがとうございました。問7を中心にしたご質問だったと思いますけども、創建からお願いします。

○株式会社創建

この調査票は黄色い網かけで、「世・調」とか書かせていただいている設問がいくつかあります。府中市では、2年に1度スポーツに関する世論調査をしており、黄色い網掛けは世論調査と項目を同一にした設問になっております。1点目・2点目については、世論調査でこういう聞き方をしているところで、崩しにくい部分があるというのが1つ考えとしてあります。

また、まさに選択肢の日数のところは、ほかの自治体等でも、ご質問をいただくのですが、ここも国とまた世論調査の中でこういう聞き方をするケースが非常に多く、またスポーツ分野では週1回スポーツ実施率という、週1回やっている人がどれくらいいるかというのを、1つのベンチマークにして施策を考えていることがありまして、選択肢2より多いか少ないかみたいなどころでの切り分けというのがあるので、週1なのか、もっと多い

と週3くらいになってしまうのが現状です。さすがに週7やっている市民の方はなかなかいらっしゃらない中で、週1回というのを基準に月1回、年何回という聞き方になっているケースが多く、こういう立てつけを取らせていただいている経緯があります。

ただ、選択肢のうち、武道の部分ですとか、海水浴が入るとか括弧の中というのは、市の実情に合わせ、施策の中で捨てるべきかどうかという議論の中で、現在の状況に合わせて変えていくのはあるかと思っておりますので、事務局で検討させていただいて、より回答者の方に違和感のないような選択肢というのを考えていきたいなと思っております。

○会長

ありがとうございます。子どもの調査票に関してでも構いませんがいかがでしょうか。

○委員

先ほどの動画配信の話なのです。項目としては違うかもしれないのですが、問7-3のところに「あなたは主にどのようなところでスポーツを行いましたか」で「自宅」というのがあって、自宅なのだけど、動画を利用したみたいな項目があると、もしかしたら思い浮かべやすいかもしれません。先ほどコロナ禍でどう変化がありましたかという設問で、入れられるようにとおっしゃっていたのですが、漠然としているより自宅で動画を使ってやってみたということで、ここに入れるのも1つかなと思いました。

うちの障害者のセンターに通われている方で、今までは体育館がバリアフリーでなくて、なかなか運動をできなかったのだけど、動画配信が始まって、家でちょっとやってみたという方とかもいらっしゃいます。そういうところで障害を持っている方というのは、体を動かす機会ですとか、ちょっと広がったところもあるようです。

あと問9は、「今後行ってみたい」というのは、「今やっていないけど今後行ってみたい」なのか、「今やっているけれども今後続けてやりたい」のかが、自分が設問に答える中で迷いました。

○株式会社創建

ありがとうございます。まず、1点目に関しては、まさにご指摘いただいたとおりだと

思います。ありがとうございます。お伺いしたいのですが、まさに自宅の前で縄跳びをやったケースというのと、リビングで動画を見て運動したというのは、コロナを契機に両方のパターンが出てきたなと思います。「自宅」と単に書いているのですが、「自宅の前で運動をした」が馴染むかもしれません。選択肢の表現は考える時間をいただきたいのですが、「自宅の前で運動をした」と、「自宅の中で動画を見てやった」という、選択肢を2つに細分化して聞いてみても面白いのかと思いました。ご意見をいただいたのはまさにその違いについてのご指摘なのだとする、細分化してみるということ、事務局内で検討させていただきたいと思います。

もう1点、「今後やってみたい」というところなのですが、問7と問9で先ほどご説明させていただいたクロス集計を行うことで見えてくるかと思います。例えば今ウォーキングをやっていて、軽い運動をしていると丸をつけた人は、やったスポーツ・運動というのは問7で書いていただけるので、そこをクロス集計することによって、ウォーキングをしている人というのは、屋内スポーツをやりたいに丸が多かったとか、分析の中で拾っていくことができます。やりたいことはこれだなと思ってもらえるような、分かりやすい設問を再考することで対応できればと考えます。

○会長

ありがとうございます。コロナの影響で市民の方の運動、スポーツの実施に変化があるかという見方ですね。最近スマホのアプリを使ってよく筋トレなんかするのですが、そういうのが出てきているかというのを把握するのは1つ意味があるかもしれません。例えばそれが分かったときに、じゃあ、政策として考えられるかというところにも関わってくると思います。現象は分かったのだけど、政策としてやる価値がなかったのでは意味がありませんので、そういった点を含めて事務局で考えていただければと思います。

問9に関しては、今までやっていても、今後やりたいに丸をつけていいのかどうかということですね。そこが少し戸惑うようであれば、設問で今までやっていて丸をつけてもらって結構ですと一言加えて、回答するのであればそれが一番いいのかなと思います。これもぜひ検討をお願いいたします。

○委員

子ども向けもよろしいですか。

○会長

子ども向けのほうもご意見をお願いします。

○委員

それでは、資料2-2の1ページから、5点ほどお願いします。

まず1番の「あなたご自身について」の問3です。「体育の学習が好きですか」ということなのです。学習指導要領で言うと、小学生向けであれば体育という表現になると思いますが、中学生向けで言うと保健体育になります。その中で体育分野と保健分野に分かれているところがありますが、ここでただ体育分野と書くことについては違和感があるので、体育実技という表現が一番分かりやすいかと考えます。

それから、2ページ目の問4-1の3です。これは運動やスポーツをすることが嫌いな理由を聞かれているのですけれども、3番「いっしょに運動やスポーツをする時間がないから」というのですが、これは個人スポーツでも含まれるので、「いっしょに」が要らないのかなと思います。運動やスポーツをする時間がないからできないという表記のほうがいいのかなと思いました。

それから、その下です。問5の17番。一番下ですね。「スポーツや運動を行ったものがあれば丸を囲め」ということなのですが、17番は「スポーツや運動はしなかった」ということで、「問6へ進みなさい」となっています。問6が「体育の学習や休み時間、学校行事以外で、運動やスポーツをどのように行っていますか」です。やっていない人がここへ進めという内容なのですけれども、どのようにやっているかという齟齬があるような質問になっているのかなと思いました。

それから、問6の中の4番に「おうちの人」という書き方があるのですが、小学5年生向けにはいいのですけれども、中学生向けには「おうちの人」というのはご家族とか、家族の方という表現のほうがいいのかなと思いました。

それから、3ページの問9です。「あなたは、令和2年3月31日までの1年間」という

のですけれども、この1年間で非常に分かりづらかったので、スタートについて記載すべきかと思います。厳密に言うと平成31年4月1日でしょうか。5月から令和2年になったので、その辺はどう書けば一番分かりやすいか分からないですけれども、平成31年4月1日から令和2年3月31日というようなスタートについて、記載していただくと分かりやすいかなと思います。

最後に、4ページに先ほどお話した「おうちの人」が複数書かれているので、先ほど言ったような理由で、中学生については先ほど申しあげたような表記のほうが良いかと感じています。

○株式会社創建

ありがとうございました。小学生、中学生でそれぞれ表記を変えたほうが良いところにつきましては、適宜対応させていただければと思います。それと、問4-1の「いっしょに」という記述は削除させていただきます。それと問5の17番が問6へ飛ぶのが正しいかどうかというところ、ご指摘のとおり問7が正しいです。

あと、まとめて最後になります。問9のところの年度の表記といたしますか、この1年というところはちょっと工夫をしてみたいと思いますので、お預かりさせていただき内容とさせていただきます。

1点ご指摘いただいたところに関して、質問を返すようで大変恐縮なのですが、「おうちの人」と表現したのには配慮があります。市内の小学生、もちろん中学生の方もいらっしゃると思うのですが、同居されている方が必ずしもご家族ではない家庭環境の方も、いらっしゃると思います。どのような表現が適切なのかというのは、アドバイスをいただくとありがたいです。

設問の意図としては家に帰ったときに、一緒に住んでいる人がスポーツを好きだから、自分もやってみようとする方もいらっしゃると思います。ただ、ご両親とか保護者という表現が適切なのかどうかということもあり、その辺に配慮をした上で、知恵を絞った結果、「おうちの人」と考えた経緯がございました。もしも思いつくようなアドバイスがあれば、いただけたらなと思います。

○委員

正直、ぱっとは思い浮かばないのですけれども、通常保護者宛てに手紙を出すので、大体保護者様という表記がほとんどです。ただ、ふだん出している手紙類からすると、ちょっと「おうち」というのは学年的にそぐわないイメージがあったので、ご家族もしくはご家族の方という表現が、適切とは言わないですけれども、一番ニュアンスとしては近いかと考えます。簡単に言うと、同居人ということだと思うのですが、ご家族の方が適しているかと考えます。厳密に言うと、定義みたいなのがあるのかもしれないですけど。一緒に住んでいる方という意味でご家族という書き方でいかがでしょうか。

○株式会社創建

ありがとうございます。事務局とご相談し、表現を考えたいと思います。

○会長

そのほかいかがでしょうか。

○委員

子供向けの問6です。回答選択肢の2番と3番で、民間のスポーツクラブ、地域のスポーツクラブという、括弧の中にあるものに関しては答えられると思いますけど、小学生が民間なのか地域なのか判断がつかないかと思います。何となく選択肢も例題から見ると、例えばスポーツクラブとスポーツチームとかに分けたほうが選びやすいのではないのでしょうか。例えばバスケットに入っていますという子はどっちなのだろうと悩んだりすると思います。民間と地域という解釈で立てるよりは、何か水泳とか比較的個人でやるような競技にスポーツクラブが多くて、野球・サッカー・バスケ・バレーボール等の団体競技は、スポーツチームという気がするので、その辺選択肢を分ける必要があるのであれば、少しどっちを選ぶか分かりやすくすると良いかなと思います。

○会長

ありがとうございます。まさにそうですね。小学生だと、なかなか自分が所属している

チームは何だか分からないかもしれません。これは、オリジナルの項目ですか。

○株式会社創建

オリジナルの項目です。

○会長

選択肢はアレンジできますので検討をお願いします。

○会長

他に何かございますか。

○委員

子ども向けの問9なのですが、小学生と中学生に同じ設問を聞く予定ですか。

○株式会社創建

それぞれ同じ項目を聞きます。

○会長

よろしいですか。それでは、そろそろ時間でもありますので、もし皆様からご意見がないようでしたら、いただいたご意見を事務局で検討したいと思います。

1つ、こちらからの補足なのですが、先ほど調査票のご記入をいただいている際に個別にご意見がありまして、大人も子どもも障害者のスポーツについての項目がありますが、なかなかスペースが取れない前提の中で、ここではあくまでも障害者本人向けではなく、健常者が障害者スポーツにどう関わっているかということを質問しております。障害者本人がどれくらいスポーツ実施できているかということは、ここでは聞き取れないということになります。障害者の本人の実態・ニーズを探るには、このアンケートとは別に、障害者が活動している団体や、現場にヒアリング等を行う必要があると考えています。この後ヒアリングに関して、事務局のほうでどうするかというのを検討するということなの

ですが、こういう団体がいいのではないか等、今お気づきの点があればご意見をいただけますか。

○委員

障害者スポーツはとても広くて、パラリンピックに出るような方とか一生懸命スポーツをやっている方もいらっしゃれば、そうではなく、障害はあるがちょっと身近なところで体を動かしたいとか、あと地域の方と一緒に何かやりたいとか、そういう方もいらっしゃるのかなと思います。ヒアリングはいろいろなレベルの方の意見が拾えると考えます。

○株式会社創建

ありがとうございます。先ほど少し意見交換はしたのですが、やはり本格的にやっている障害者スポーツと福祉的スポーツとがあって、役所では部署も違います。そのバランスについて、調整も必要なのではないかという話も出ています。またこの後もぜひご意見、アドバイスをお願いします。

—その他—

○会長

いかがでしょう。そのほか全体を含めまして、何かご意見等ございますか。

特にないようですので、次の「その他」に移りたいと思います。

まずは委員の方から、「その他」について検討すべき点等はございますか。それでは、事務局から何かございますか。

○事務局

本日ご協議いただきました内容につきまして、修正または検討させていただくということで申しあげた件につきましては、また改めて皆様に集まっていただくということがなかなか難しいことから、会長、副会長並びに事務局に一任いただくということで、集計等の内容をお知らせするという形とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○事務局

特にご異議ないということなので、では会長、副会長一任ということでよろしくお願
いたします。

○会長

それでは、全ての議事が終了いたしましたので、次回、第3回の協議会は、令和3年1
月19日火曜日に開催することとなっております。確定というわけではなく調整の可能性
はありますが、基本的にはこの日に行います。場所などは後日、事務局からご案内いたし
ます。

本日は、これで散会することといたします。ありがとうございました。

以上